

## 第18回APCTP日本委員会会合議事録

日時：2020年3月2日（月）10:00～ 12:00

会場：<https://lbnl.zoom.us/j/100178938>（Web会議接続）

出席者（順不同、敬称略）：

河本昇（北海道大学、委員長）

押川 正毅（東大物性研）、磯暁（KEK）、保坂淳（阪大RCNP）、横山順一（東大ビッグバン宇宙国際研究センター）、藤本聡（阪大基礎工）、大西明（京大基研）、原田正康（名古屋大学）、田中 貴浩（京大理）、佐々木節（京大基研）、橋本幸士（阪大理）、桂法称（東大理）、多田司（理研）

オブザーバー：白水徹也（名古屋大学、次期委員）

欠席者（順不同、敬称略）：菅原寛孝（KEK）、藤川和男（理化学研究所）、九後汰一郎（京都産業大学）、初田哲男（理化学研究所）、青木慎也（京大基研）、小形正男（東大理）

### 1. 前回議事録承認

前回会合である第17回APCTP日本委員会議事録が承認された。

### 2. APCTP理事会報告

資料に従って2019年11月25日に行われた第33回APCTP理事会について理事会の議長でもある河本委員長より報告された。日本から推薦されたGeneral Councilメンバーが全員承認されたこと、オーストラリアの、メンバーシップフィー軽減の措置、現所長のYunkyu Bang氏の再任、議長を含む理事会メンバーの再任と2名の新メンバーが加わったことが報告された。これに対しオーストラリアの軽減の期間について質問があった。さらにインドから理事会に選出されたことについて補足の説明があり、理事会のメンバーの国別構成等について議論がなされた。またJRGの増加、ポスドクの雇用、その他の科学プログラムおよび2020年度の予算案の承認が行われたこと、長年理事会議長を務めたWon Namkung氏に謝意が表されたことが報告された。

最後にExecutive Directorの役割を財政、運営のマネジメントとすることを明記した運営規則の改正が議論されたことが報告され、その背景が説明され、これについて質疑と意見交換が行われた。

### 3. Cooperative External Activity 報告

General Councilでの議論により新たに提案された、教育目的を主眼に開催する新プログラム、Corporative External Programについて報告された。

2019年には台北とフィリピンからの提案についてサポートが既に行われたことが報告された。台北でのProgramに参加した横山委員からそこでの様子が紹介され、意義ある活動であったとの認識が示された。2021年度分からGeneral Councilでの審査とすることにして2020年度分はKazakhstan, Uzbekistan, Kyrgyzstanの合同での企画とベトナムでの企画に対して補助することとなったことが報告された。日本とインドによる企画は2021年度分に回すこととなった。

4. 来年度の委員について  
来年度の委員について報告された。

5. メンバーシップフィーについて  
2019年度のメンバーシップフィーについてKEKから支払いが行われ、その分担金が関連研究機関から支払われたことが報告された。取りまとめを行ったKEKおよびその他の関連研究機関である東京大学ビッグバン宇宙国際研究センター、東京大学物性研究所、理化学研究所、京大基礎物理学研究所、大阪大学 RCNPに謝意が示された。

6. 日韓交流について  
日韓の物理学会を交えて日韓交流のためのシンポジウムを開催することが企画されていることが報告された。これについて意見交換が行われた。  
この企画への委員への協力が求められた。

7. APCTPがコロナウィルス感染者が出たため閉鎖されていること、3月27日のGeneral Councilは中止、理事会は国外からはビデオ会議で行われることが報告された。ビジター制度の活用への協力が呼びかけられた。

以上